

体験から生まれる見方を読む

図解 | 随筆文読解の読み方

筆者の発見を、本文以上の一般論に広げない

体験と感想、ものの見方の変化、比喻や結末の働きを根拠に、筆者の考えを正確に読み取る32問です。

1 体験

何を見聞きし、どう行動したか

2 揺らぎ

最初の予想と、どこが違ったか

3 捉え直し

何に気づき、何は言い切らないか

短い文章で確かめよう

次の文章を読んで、あとの問いに答えましょう。

① 母と買い物へ行き、私は形のそろわない器を一つ選んだ。棚では隣の器より傾いて見えたが、手に取ると、へこんだ所に親指がちょうど収まった。

② 形がふぞろいな物は全部よい、と分かったわけではない。私には、この器のへこみが使いやすかったのだ。棚に置いた姿だけでは分からないことが、持ってみると一つ増えた。

体験・感想・考えをつなぐ

「何をしたか」の羅列で終わらず、そのときの感じ方と、後からの捉え直しを分けて読みます。後の感想が、その場の気持ちと同じとは限りません。

言い切らない言葉に注意する

「私には」「とは限らない」「だからといって」などは、考えの範囲を示します。随筆の個人的な発見を、全員への命令や法則に変えないようにしましょう。

根拠をつないで説明する

例題 | 学習ポイント1ページの文章を使います

例題

この体験で筆者が捉え直したことを、一般化しすぎないように40字以上60字以内で説明しなさい。

答えに必要な内容を整理する

① 体験：棚で傾いて見えた器を、手に取る。
② 気付き：へこみが自分の指に合い、持ちやすい。
③ 限定：全てのふぞろいな器がよいとは言っていない。

解答例

形	が	整	っ	て	い	る	か	だ	け	で	な	く	、	実	際	に	持	っ	た	20
と	き	の	使	い	や	す	さ	も	、	そ	の	器	の	よ	さ	を	知	る	手	40
が	か	り	に	な	る	と	気	付	い	た	。									60

〔52字〕 字数だけでなく、必要な内容がそろっているか確かめよう。

ここに注意

「ふぞろいな器を買うべきだ」は、本文にない勧めです。「私には」とある以上、他の人にも必ず使いやすいと決め付けることはできません。

読み直すときのチェック

- ☐ 問いが求めている人物・場面・内容に答えたか。
- ☐ 本文の言葉を根拠にし、想像だけで決めていないか。
- ☐ 「必ず」「全部」など、本文より強く言い切っていないか。
- ☐ 字数・抜き出し範囲・指定された言葉を守ったか。

字数には句読点・かぎカッコ・小さい仮名も一字ずつ数えます。段落番号は数えません。記述は指定範囲を守り、抜き出しは本文の表記のまま答えます。